



18号 2010年2月・3月

【発行】福井県青年団体連絡協議会(青团連)

ブログ : <http://fukuseinen.mitelog.jp/seinen/>

メール : fukuseinen@yahoo.co.jp

青团連からのお知らせ

意見交換会(ワークショップ)の開催

日時 2月14日(日) 13:30~
会場 福井県社会福祉センター(福井市光陽)
内容 ワークショップ
〔テーマ:今後の青团連の目指すべき方向性〕
加盟団体が青团連へ求めているものや、青团連の今後の方向性を、ブレーンストーミング方式で形にしましょう!!

“おじゃまし隊”報告

福井県青年国際交流機構 インドとイエメンの青年たちとの交流

1月15日(金)に、福井県青年国際交流機構主催による「インド・イエメンの青年との交流イベント」が行われ、レセプションパーティやリサイクルガラス作り体験を通じて互いの理解を深めました。

青年たちは、「世界青年の船事業(内閣府主催)」に参加した22人。バードグリーンホテルで行われたパーティには竹山会長が、金津創作の森で行われたガラス作り体験には山下常任理事が“おじゃま”しました。

〔ホストファミリーレセプションパーティ〕

今回初めてパーティに参加し、当日の運営だけでなく、ホストファミリーの募集や内閣府との事前調整など、膨大な事務を長年担っている福井県青年国際交流機構の結束力は素晴らしいと改めて感じました。

さて、インド・イエメンの青年も国を想い、地域を慕う気持ちは、私たちと何も変わらず、それ以上に日本を本当に好きで関心が高いことに驚かされました。時間が許せば、お互いの経験をもっと話し合い、今後の活動においてもお互いにヒントが得られるのかと思うと、来年度以降は、ゆっくり話し合える「ホストファミリー」として参加したいです。

増永さん(同機構)の着物姿は艶やかで見とれますよ。皆さんも是非いかがでしょうか?(竹山)



“おじゃまし隊”報告

福井県連合青年団

第55回福井県青年問題研究集会

1月23日(土)、24日(日)に、福井県連合青年団主催による「第55回福井県青年問題研究集会」が福井県青年館において行われました。

県内の青年団体から約60人が参加し、“惹かれる関係~人と場所~”をテーマに、5つの分科会に分かれて日ごとの活動の振り返りや今後の展望について話し合いました。竹山会長が参加者として、市橋会長代行が助言者として“おじゃま”しました。

毎年参加していますが、各地域において活発に活動している参加者同士の“勢い”にはいつも驚かされます。盛り上がる時は目一杯盛り上がり、真面目に取り組むときはお互いの問題点などを真剣に話しあう。この姿は連合青年団の特色ある魅力だと思います。これは、県内各地に多数点在する青年団体を結びつける活動を続けてきた堀田団長以下役員のみなさんの尽力の集大成であり、求心力の賜物です。本集会が55年も歴史を作る理由でもあると感じています。

今年も大きな刺激を受け、また、今後の活動のヒントを得ることができました。もし、機会がありましたら、是非みなさんもご参加ください。(竹山)



〔リサイクルガラス作り・清掃センター見学〕

朝10時に金津創作の森に集合しましたが、当日は大雪のため、道路も駐車場も雪だらけ。悪戦苦闘している我々を横目に、初めて見る雪に興奮気味の青年達。

笹岡のゴミ処理場への視察では、国を代表する青年だけあって、自分達の国を大切に思うと同時に、世界の環境にも関心が高く、福井での体験から多くを学ぼうとメモを取りながら熱心に聞き入っていました。ゴミ処理の問題は世界の問題だけに「3Rの精神(=消費削減(Reduce)、再利用(Reuse)、資源再利用(Recycle))」にも感心していましたし、笹岡の施設で沢山のゴミを燃やしているにも関わらず、ゴミの臭いがしないことにビックリしていました。

世界の青年と接する機会は福井では中々ありませんので、来年度以降は、より多くの人に参加していただきたいと思いました。(山下)

